News Release

2018 年 2 月 21 日

「石垣港離島ターミナル」のネーミングライツを、ユーグレナ社が取得
～年間 200 万人以上が利用、石垣島と離島をつなぐ海の玄関口の愛称が 4 月 1 日（日）より「ユーグレナ石垣港離島ターミナル」に～

株式会社ユーグレナ

株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区、社長：出雲充）は、本日 2 月 21 日（水）、沖縄県石垣市との間で「石垣港離島ターミナル」のネーミングライツを取得する契約を締結し、新しい愛称を『ユーグレナ石垣港離島ターミナル（英語名：euglena-Ishigaki Ferry Terminal）』とすることで合意したことをお知らせします。なお、新愛称での運営は 4 月 1 日（日）より開始する予定です。

「石垣港離島ターミナル」は、沖縄県・八重山地域の中心である石垣島と、竹富島・西表島などの離島※1 を結ぶ旅客船が発着する唯一のターミナル港です。国内や台湾、中国などからの観光客が多く利用しているほか、八重山地域の住民にとっても重要なライフラインとなっており、年間 200 万人以上の利用実績があります。

当社は、このたびの「石垣港離島ターミナル」のネーミングライツ取得を通じて、八重山地域と来島者への当社認知度向上の促進とともに、地域支援活動およびターミナル利用者へのサービス向上に取り組む予定です。なお、石垣島内の重要拠点施設のネーミングライツの取得は、商店街の『ユーグレナモール』※2（2010 年 3 月に取得）に続き 2 件目となります。※1 別紙参照　※2 石垣市の商店街のネーミングライツを取得し、「ユーグレナモール」と命名。

詳細は以下の通りです。

「石垣港離島ターミナル」のネーミングライツ取得について

■新 愛 称：ユーグレナ石垣港離島ターミナル
■契約期間：5 年間（2018 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）
■所 有 者：沖縄県石垣市
■所 在 地：沖縄県石垣市美崎町 1 番地

＜株式会社ユーグレナについて＞

2005 年に世界で初めて石垣島で微細藻類ユーグレナ（和名：ミドリムシ）の食用屋外大量培養技術の確立に成功。石垣島で生産した微細藻類ユーグレナ・クロレラなどを活用した機能性食品、化粧品等の開発・販売を行うほか、バイオ燃料の生産に向けた研究を行っています。2012 年 12 月東証マザーズに上場。2014 年 12 月に東証一部市場変更。経営理念は「人と地球を健康にする」。

＜当社の八重山地域での活動について＞

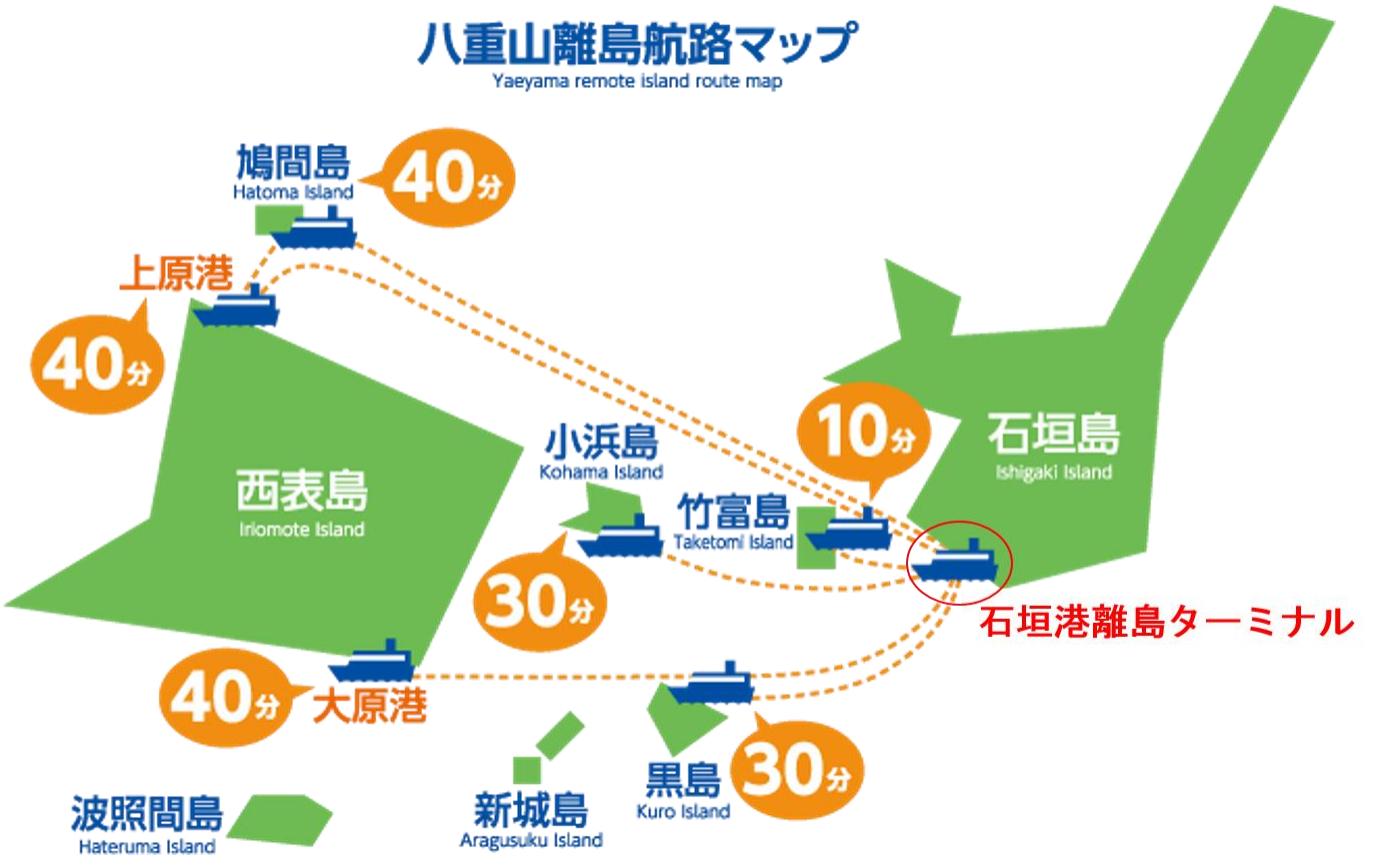
当社は、石垣島を中心とする八重山地域にて以下活動等を行っています。
・石垣島の商店街のネーミングライツ取得（「ユーグレナモール」）
・理科実験教室、ユーグレナカップ（地元のバスケットボール大会）の開催などの教育・スポーツ支援
・ユーグレナ竹富エビ養殖株式会社のグループ化による第一次産業支援　　など

以上

【別紙】

図：「石垣港離島ターミナル」から各離島への航路マップ

「石垣港離島ターミナル」は、石垣島と離島を結ぶ旅客船が発着する唯一のターミナル港です。



（八重山観光フェリー株式会社より許諾を得て使用・一部改編）